



今日のキーワード 今年も好調！Amazon『プライムデー』

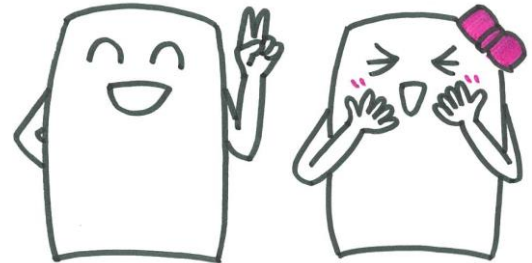
米Amazon.com社は、有料会員向けのセール『プライムデー』（Prime Day）を10月13、14日に世界19カ国で開催しました。『プライムデー』は、例年は7月に実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を踏まえて延期されました。Amazon社は、コロナ禍での巣ごもり需要の高まりを受けて4-6月期に業績を大きく伸ばしているだけに、イーコマース（EC）の現状の確認と今後を考える際の参考になると注目されました。

ポイント1 コロナ禍で延期されていたAmazon『プライムデー』がようやく開催

- 米Amazon.com社は、有料会員向けのセール『プライムデー』（Prime Day）を10月13、14日に、米国、日本、英国など、世界19カ国で開催しました。今回で6回目のこの『プライムデー』は、例年は7月に実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響により延期されました。Amazon社は、コロナ禍での巣ごもり需要の高まりを受けて4-6月期にはオンライン販売が前年比48%増と大きく業績を伸ばしています。10月時点の状況が確認できるため、ECの現状と今後を考える際の参考になると注目されました。

ポイント2 出店業者による売上は前年比60%増

- 期間中の出店業者による売上は35億ドル（約3,675億円）を超え、前年比60%増と大きく増加しました（全体の売上は非開示）。コロナ禍によるEC需要の高まりが続いていることや、開催が10月になったため、年末商戦の需要を捉えられたことも寄与している模様です。
- 期間中、最も売れたのは寝具、ワイヤレス製品、電子機器、ウエルネス用品などです。個別ではロボット掃除機、ストロー型の浄水フィルターのほか、スマートスピーカー等です。日本では、カーテンや照明をアプリでコントロールできるスマートスイッチ、衣料用の漂白剤、ミネラルウォーターが売れ筋商品でした。



今後の展開 巣ごもり需要は継続、IT家電の需要増も年末商戦の追い風へ

- 全体像が分かりにくいものの、出店業者による売上が全世界で前年比60%増加していることから、EC需要は大きく伸び続けていると考えられます。売れ筋商品は、家庭内で利用されるもの、特に日用品が多く、店舗での購買が控えられている印象です。中でも、ロボット掃除機やスマートスイッチなど、暮らしやすさをサポートするIT家電がよく売れている点には注目です。IT家電の便利さを経験する消費者が広がるほど、アフター・コロナでも需要が伸びると考えられるためです。年末商戦でもECは、幅広いニーズをとらえて、大きく伸びると期待されます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここもチェック！ 2020年10月16日 中国の『国慶節』消費は好調
2020年10月14日 IMFの世界経済見通しは経済再開を受け上方修正

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。